

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	言語コミュニケーション		
科目基礎情報								
科目番号	0061			科目区分	専門 / 必修			
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	コミュニケーション情報学科 (H31年度開講分まで)			対象学年	3			
開設期	前期			週時間数	2			
教科書/教材	指定しない							
担当教員	田淵 義英							
到達目標								
①コミュニケーションの諸側面について基礎的な知識を理解することが出来る ②ソシールの言語学について基礎的な知識を理解することが出来る ③人間の社会における言語の重要性を理解し、自分なりの考えを持つことが出来る								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2								
評価項目3								
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B)								
教育方法等								
概要	講義の前半でコミュニケーション論の基礎を理解し、後半ではソシールの言語学とその批判をととして、言語コミュニケーションの複雑さ、その運用の困難さと可能性について学ぶ。							
授業の進め方・方法	中間試験は実施しない。期末試験は50分の試験を実施する。定期試験60%、課題40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。課題は、適宜授業ノートの提出、レポートの提出などを課す。							
注意点	本講義の目的は言語コミュニケーションの理論を学ぶことである。講義は理論的な座学が中心になるので、事例は自習によって理解すること。							
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	導入			講義の目的と概要、評価方法などの説明		
		2週	コミュニケーション論の歴史と意義			現代の日本社会においてコミュニケーション論を学ぶ意義を理解する		
		3週	コミュニケーション能力の諸相			人間のコミュニケーション能力を構成する様々な側面について学ぶ		
		4週	コミュニケーションとオート			音声と音韻の違いを理解し、音韻が言語において果たす役割について学ぶ		
		5週	コミュニケーションと言葉			言葉と意味に対応関係が恣意的であることを理解し、その恣意性が現実を構成していることを学ぶ		
		6週	前半の振り返り			前半を振り返り、学んだことを確認する		
		7週	ソシールの言語学①			言語研究の歴史について理解する		
	2ndQ	8週	ソシールの言語学②			ソシールの生涯について理解する		
		9週	ソシールの言語学③			差異の体系としての言語について理解する		
		10週	ソシールの言語学④			差異の恣意性について理解する		
		11週	言語における実在論再考			ソシールの恣意性の概念に対して、自然的カテゴリーの実在性について、ハッキングの議論を参照しながら検討する		
		12週	動物行動学からの知見			ソシールの価値の恣意性に対して、普遍的価値の可能性について、ドゥ・ヴァールの議論を参照しながら検討する		
		13週	最終講義			ここまでの講義を振り返り、人間が言語によって構成される客体であり、かつ言語を再構成する主体でもあることの意義を検討する		
		14週	試験対策			期末試験対策のための解説を行い、質問を受け付ける		
		15週	前期学習したことの総括			前期期末試験解答用紙の返却と解説		
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100	
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	